

ひとから真に求められる『心のケア』を考えます

# ベトレヘムの風

発行：ベトレヘムの園病院 隔月15日発行 編集：広報委員会  
住所：東京都清瀬市梅園三丁目14番72号 ☎042-491-2525 URL: <http://www.betohp.com>



No.103

## 『Go To 電子カルテ』

院長 青木 信彦



この病院に勤務して6年、仕事での最大の苦痛は紙に字を書くこと。当時すでに10年以上も文字を紙に書くという習慣がなくなっていたのです。とくに漢字という複雑な文字はカタカナ文字にして書くようになっていました。(医学用語は面倒です：蜂窩織炎→ホウカシキ炎←こちらが明らか

かに早い)

赴任以来、そんな思いがあったので電子カルテを導入しよう、心の底では思いつつも言い出せなかった。

これまでの病院での電子カルテ導入経験でトラウマがあったのです。

いくつかの病院で電子カルテ導入を推し進めてきました。とくに都立病院第1号の電子カルテ病院として白羽の矢がたった某病院では、電子カルテ導入の旗振り役を演じていました。もうかれこれ20年前のことです。しかし、スタートは難航し、稼動予定日は大幅に遅れ、電子カルテ導入反対派(主に高齢医師たち)との小競り合いが長引きました。挙げ句のはてに病院は空中分解寸前まで追い込まれたのですが、なんとか力づくでスタートラインに漕ぎ着いたのです。そんなトラウマを抱えていたこともあり、ベトレヘムの園病院では「Go To 電子カルテ」などと軽々しくは言い出せなかったのです。

この悩ましい場面に、菊池事務部長から「院内プロジェクト会議」をはじめようという提案が出されたのです。この考え方は病院の仕事に関係のある実務の中から新しい企画を提案してもらおうという発想です。つまり、現場からボトムアップでなにか魅力ある提案を出してもらおう

との内容です。この募集の第1号となったのが「慢性期の小さな病院でも電子カルテができることを証明してみたい」という提案でした。初っぱなから大型提案だなあ、などと運営委員会で議論したところ「ほとんど賛成、反対なし」で可決しました。(会議の席上で院長も思わず、うれし涙)

しかし、多くの職員は電子カルテの経験はありません。さらに、世の中の大半の電子カルテは急性期病院向け仕様になっていて、この小さな単独の慢性期病院にすっぽりと通用するパッケージはなく(驚くほどない)、一つ一つが手作りで、限りなく高いハードルを跳び越える作業となったのです。

周辺の病院からは「ベトさんのお手並み拝見」とかいう冷やかしの声援も聞こえてくるようです。不思議なことに、人はピンチに遭遇すると乗り越えようという本能が目覚めるのです。

12月1日スタートを目の前に、いま、ベトレヘムの園病院ではスタッフが総力を挙げて、火の玉状態となっています。病院のすみからすみまで真っ赤に燃え上がっているのです。

当病院にご来院のみなさま方をお願いします：

ご来院の際は、コロナ対策とともに、十分な火災対策もご準備下さい。

～ 電子カルテ導入の当面は、長時間の診療待ち時間が避けられません。ご理解と暖かいご声援をお願いします～。

～ ベトレヘムの園病院 虹の架け橋 ～



# 第20回 院内研究発表会を終えて 日時:2020年10月22日(木)

事務部長 菊池 誠

コロナ流行下でも「学び」を通じた業務改善に力を注いでいきたい、という思いのもと、今年も看護部を中心に4題の演題が発表されました。どの演題も非常に練り込まれた内容で、特に第2演題の「身体拘束ゼロへの取組」の成果は『ブレインナーシング』2020年11月号に掲載されました。これからより良いケアの提供へ向けて努力を続けて参ります。



## <第1演題> 摂食に変動あるパーキンソン病の患者への関わり ～自立した楽しい食事を目指して～

<演者> 看護部 富田まさ子(介護福祉士)、森田紋子(介護福祉士)

<概要> 今回の研究では、患者A氏(85歳 パーキンソン病 女性)が介助者の関わりにより楽しく意欲を持って食事ができるかを明らかにすることを目的とした。2回にわたる調査で、1回目では



は覚醒状態が良好なことが多く、朝食はほぼ全介助と8割以上自力摂取が二極化。昼食は半分以上の自力摂取が86%。夕食は3~5割以上の自力摂取が64%であった。2回目は全般通して覚醒不良が多く関わりの工夫をしてもほぼ全介助が70%であった。自立した楽しい食事に着目し調査したが覚醒不良時は必ずしも自力摂取はできなかった。スタッフが意識改革し工夫して関わる事により、食事が楽しい時間になるのではと考えた。摂食に変動のあるA氏に対し有効な関わりを明らかにすることはできなかったが、「楽しく意欲を持ってもらう食事介助」に対してスタッフの意識変化が得られた。

## <第2演題> 身体拘束解除に向けた小さな取り組み ～ミトンから着脱式マスコット付手袋(ベトボール)への試み～

<演者> 看護部 山越真美(准看護師) ほか身体拘束ゼロ委員会メンバー

<概要> 今回の研究では、ミトン解除に踏み切るプロセスとして代替品に着目し、当院で取り組み始めた着脱式マスコット付手袋(以降ベトボール)によるミトン拘束解除の安全性と有効性を検討した。試作した【ベトボール】の特徴は着け心地や見た目が良く、確実に使用目的を達成できる点にある。製作で工夫点として、①皮膚トラブルを発生しにくい素材の

選択、②チューブ類を挿みにくいマスコットと手袋の位置関係、③マスコットを着脱可能とし、取り外して手袋のみ洗濯可能とした。事例として、4つの症例で効果を検証した結果、開始2ヶ月時点での評価ではあるが、4症例での有害事象の発生はなく有効性の高いことが推測された。また、今回ご協力頂いた患者のご家族の評価も十分に納得のいくものであることも確認された。



## <第3演題> 歩行障害を呈したパーキンソン病患者のリハビリの重要性

<演者> リハビリテーション科 宮田あゆみ(理学療法士)

<概要> 今回の研究では、進行性の病気であるパーキンソン病(以下PD)と診断を受けつつも、リハビリ介入によって回復を認めた症例(85歳 男性 腰椎圧迫骨折)を報告。当院入院後、週2~3回、1回約40~60分、ストレッチ・筋力増強訓練・基本動作訓練・立ち上がり動作訓練・歩行訓練などを中心に介入。結果、①筋力:膝関節伸展で初期から中間評価で筋力が向上。



②バランス・持久力:初期・中間・最終評価の全ての段階において向上。③ADL動作:移動方法が初期は車椅子全介助、中間では手引き歩行、最終では手すりにて監視へと向上。⑤評価スケール以外の変化:3 食胃瘻経管栄養だったが、昼のみ食事へと向上した。現在の栄養状態と身体状態を考慮しても飛躍的改善は難しい状況。その中で、運動意欲の継続・QOL維持向上をどのようにサポートできるかが課題である。原疾患のみのアプローチでなく、廃用症候群にも焦点を当てたアプローチが重要である。

## <第4演題> 「看取り期」に私たちが出来たこと そしてさらに提供できること ～当院の看取りに対する調査その2～

<演者> 看護部 窪田由佳(看護師) ほか看護管理委員会メンバー 医療相談室

<概要> 当院のビジョンは「人生最期の時を自宅で過ごすような穏やかな時間と温かいケアを提供できる病院になる」である。看取りの充実に向けた継続的な取組の成果を再調査、評価をすることに加え、ご家族へのアンケートを実施した。調査対象は①患者に直接関わる職員 ②令和元年11月~令



和2年9月までに亡くなった患者家族とした。結果は**1**看取りの満足度は全体で33%から59%に増加**2**取組で良いと思うベスト5 ①個室での対応②飲酒、嗜好品の摂取③家族の悲嘆受容への援助④お別れの冊子⑤最期までの入浴**3**ターミナルケア尺度は前回と大きな変化はない**4**ご家族の当院での満足度は大変満足77%満足23%**5**ご家族が良いと感じた取り組みベスト3 ①個室でのお看取り②医師からの数回の説明③他部署含めた出棺時の見送り。今回の研究では当院の具体的な取り組み評価を可視化した。今回ご家族へのアンケート回収率は83%、また半分の方が自主的に名前を書かれていた。これは当院への期待と受けとりこれからも看取り期の充実に向け実践で示していきたい。



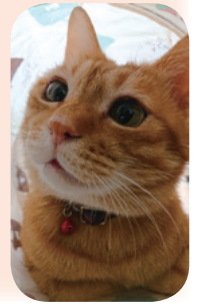


## 我が家の愛猫 ふくちゃん

2階看護科 看護師 長岡 亜希子  
我が家の愛猫 ふくちゃん オス  
多分7才くらい

猫だけど猫じゃないよね〜と思うところ。  
魚に興味がない… 焼き魚もツナ缶も見向きもしない  
怒ってもシャーってしない… 一度も見たことが無い  
のど元を撫でてでもゴロゴロしない… 気持ちよくないみたい

足元にスリッと寄ってくるのが無い… 甘えて来てほしいのに  
ですが、名前を呼べば来るし、トントンと合  
図すると膝に乗ってきたり、頭をドーンと寄せ  
てきたり、まあかわいい事!!! 「世の茶トラの  
中でふくちゃんが一番かわいいよね! やっ  
やっぱり口元の白いところがいいよね♡」こ  
のワード、我が家では何度言ってきたかわか  
りません。日々癒してもらっています。



## 我がジジ(猫)と あずき(柴犬)

1階病棟 松島 佳子

我が家には、ジジというシンガプーラのオ  
ス(9才)とあずきという柴犬のメス(2才)  
がいます。ジジは、まだ上の子が小学校低  
学年の頃にやって来ました。初めは子猫だっ  
た為とてもやんちゃで、走り回り子供達も飛びつかれて怖くて触  
れないほどでしたが、成長し落ち着き今では上の子に一番懐い  
ています。でも、とても気分屋で構ってほしい時だけ頭突きや手  
でチョイチョイとアピールし、その他は自分の好きな場所でダ  
ラーっと伸びています。一方あずきは、我が家に2年前にペット



ショップからやってきましたが、ウチに來  
てわずか1週間程で外でははしゃぎじゃ  
れてジャンプし着地に失敗、なんと左後ろ  
足を骨折してしまいました。その時はも  
う大慌てで病院に行き入院、手術となっ  
てしまいました。退院してからもギブスを  
巻いていても本人はお構いなしにはしゃ  
ぐ為、何回もギブスがすっぽり抜けてしまい家で包帯巻いたり靴  
下を履かせたり大変でした。今ではやっと落ち着き、静かに過  
ごしています。初めはジジもあずきに対して猫パンチを繰り返  
していましたが、少しずつ距離も縮まり今では2匹揃ってちゅー  
るを食べたりしています。毎日騒がしいけど、楽しいですよ。

## 「空との出会い」

リハビリテーション科 山中 美幸

12年前に主人と北海道に行ったときに、札幌で偶然立ち  
寄ったペットショップで出会いました。埼玉県から来たばかり  
のミックス犬で、手のひらに乗るほど小さくて可愛い子でした。  
主人が出会った瞬間に「連れて帰りたい!」と一目ぼれ♡、私も  
凄く可愛いと思ったものの、その当時は病院通いの多いナッツ  
(柴犬)が家に居たので、悩みに悩みました。店員の方も「この  
可愛さだとすぐに売れてしまいますよ。」と言っていたので、売  
れていなかったら連れて帰ろうという賭けをしました。そして、  
最終日にお店に行くと、待ってました!! と言わんばかりにしっ



ぽを振ってゲージの中から  
近寄ってきました! 「あ〜  
賭けに負けたあ〜!」主人  
は大喜びし即購入。こうし  
て、我が家の一員になりま  
した。名前は、飛行機に  
乗ってきたので、空と名付  
けました。

2.4kgしかない体で大  
型犬にも飛び掛かって行くほどのヤンチャさんですが、12才  
になりこの頃は少しお疲れのことが多くなってきました。

## 猫の南天

臨床検査科 佐藤 亜矢

あたしは猫。名前は南天。

何でも4年前に暑い日差しの中駐車場  
で泣く気力もなくなって放置されていた事  
だけは記憶してる。気づくとじゃぼーん、  
とお湯をかぶせられ、人間たちにフワフワ  
な毛並みにしてもらい、その後落ち付いて  
家を探検したのを今でも覚えている。姉さんは柊と名付けても  
らっていた。柊姉さんは食いしん坊なのにアレルギーがひどく  
食事は人間たちが気を使っている。



この家に来て数日後あたしたちと同じ  
ように毛がフサフサしている、犬というも  
のと対面した。一番年上の黒いチワワは  
姫と呼ばれ、その相棒が佐助である。姫  
はあたしたちと一緒に寝たり仲が良いほう  
だと思う。佐助は名前のわりにドジなや  
つであたしたち猫と一緒に遊ぼうと  
してジャンプできずわんわん吠えている。

13歳のおやじなのね。

今、あたしは柊姉さんとチワワの姫、佐助そして人間という  
下僕たちと幸せに暮らしている。

# ひふの話

その  
55

市川 雅子(皮膚科医師)

## 唾液(つば)と皮膚炎

やっと秋らしくなってきましたが、空気が乾燥して皮膚もカサカサです。特に手は乾燥に加えてコロナ禍による頻回の手洗いと消毒剤の刺激で悲鳴をあげてきています。まずはハンドクリームをこまめに塗りましょう。たとえ5分後に手を洗わなくてはいけないという時も、少しでも塗っておくと違いますし、昼間の綿手袋はかなり有効です。すでに皮膚が割れたり湿疹が出ている人は早めに皮膚科を受診して下さい。

さて、今回は唾液と皮膚炎のお話です。唾液は健康な皮膚に付着しても多くは大丈夫なのですが、皮膚のバリア機能が障害されていると炎症を起こしてきます。「皮膚のバリア機能」とは、皮膚の一番上にある角質層の働きのことです。角質層は表皮の最上階にあるとても薄い層で、そこに実はとても重要な保湿成分が含まれています。アトピー性皮膚炎の人は、この角質層の機能が生まれつき弱



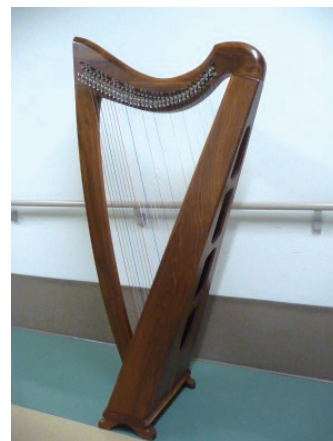
いため、乾燥しやすく炎症をおこしやすいのですが、健康な皮膚を持っていても、繰り返し強くこすったり、アルコールなどの消毒液、洗剤などで、角質層がダメージを受けることで皮膚に炎症が起こりやすくなるのです。赤ちゃんのよだれ荒

れは、よだれが出たときに繰り返し「拭く=こする」ことで角質層が障害を受けてよだれや食事の刺激で炎症が起こったものです。大人でも口びるが乾燥してくると無意識に舐めてしまい、口唇炎や口角炎を起こすことがあります。舌で舐める動作そのものも角質層にダメージを与えます。小さなお子さんでは口びるだけでなくその周りの皮膚まで舐めてしまい炎症を起こして皮膚が赤黒くなることがあります(「舌なめ皮膚炎」と呼ばれています)。このような時は、早めにステロイドを短期間塗り炎症を抑えて、その後は高品質ワセリンで保護をしながら乾燥させないようにしていくことでほとんどの場合落ち着きます。ただ、口の周りや口びるの部位はステロイドの副作用も出やすいため、皮膚科で治療を受けることをお勧めします。

## リラ・プレカリア(祈りのたて琴)ご紹介

ハーブ演奏者 坂本 千歳

10月のある金曜日、いつものようにハーブを持って病室を訪問すると、ちょうど体位変換をしておられたスタッフの方が、患者様に、「〇〇さん、これはただの音楽じゃなくて、心の音楽ですよ」と説明して下さいました。“心の音楽”と表現して下さったのがとても嬉しかったです。リラ・プレカリアは、単なる演奏やパフォーマンスではなく、また音楽療法やハーブセラピーでもありません。むしろ、患者様の心や魂に寄り添うスピリチュアル(パストラル)ケアの一つと考えています。目の前の患者様(意識がある・無しに関わらず)の呼吸やエネルギーに細心の注意と最大の敬意を払い、ハーブと歌声を用いて、「あなたには人生のいかなる時にも愛され、尊ばれる価値があります。今、この瞬間のあなたを尊重し、ついてゆきます」と、言葉ではなく、音楽でお伝えできればと願っています。



(一度、平成30年11月号で「患者様の呼吸に合わせてハーブを奏でる」と題し、寄稿させていただきました。)



## 編集後記

私は若い頃本を読むのが大好きでした。日本文学を読む!と決めたらひたすら日本文学作品を読み、飽きた頃に今度は海外文学!というように、ジャンルを問わず朝から晩まで読んでいたのですが、いつしか本を全く読まなくなりました。これではいけないと思い、大きな本屋に赴き色々と物色しましたが、読みたいと思える本には出会えませんでした。虚無感にと

らわれながら帰り道をいく途中、ヘミングウェイの“心の底からやりたいと思わないならやめたほうがいい”という言葉思い出し、オプティミストの私は、若い頃の読書熱が自然に再燃するのを気長に待つことにしました。皆様は、考えや人生そのものを変えてしまうくらいの本に出会ったことはありますか? おすすめの本がありましたら是非ご紹介下さい。(S・O)